

## 「学力に科学的根拠を」



2018年6月27日、B-Conプラザ フィルハーモニアホールにおいて、学校法人別府大学創立110周年記念児童学会講演会が開催されました。中室牧子氏を講師に迎え、「学力に科学的根拠を」というテーマで講演いただきました。参加者は、別府大学短期大学部初等教育科・専攻科の学生に加え、多数の大分県内の教育・保育・福祉関係者でした。

学力を上げるといふと、「やる気を引き出す」とか「ほめて伸ばす」とか、情緒的な話に流れがちな議論が多い中、中室先生は自身の研究等を示しながら、科学的に経済学の方から教育を分析しており、子どもの学びや力について語られたものでした。「子どものやる気を引き出しについて」、「世界的に関心の高い非認知的能力について」は、教育・保育・福祉を担う学生にとって非常に興味深かったようです。質疑応答も盛んにおこなわれました。

参加した学生たちからの感想の一部ですが、紹介します。

- ・学力を経済学的に定量的に明らかにすることの面白さ。
- ・教育経済学という分野があることすら知らなかった。経済学といえば世の中の経済を勉強する学問で教育とは関係の無いものだと思っていた。けれど、今の日本の教育界に一番必要なものだと強く感じた。
- ・教育にエビデンスを求め本当に意味のある学力を子供たちに身につけさせるべきではないかと思った。

